

西部小学校のヤマメ放流

2015年(平成27年)5月9日

大谷川角間流域へ稚魚900尾

きょう放流するのは去年の秋に「産卵」し、
その後「ふ化」した1才にならない稚魚



○パーマーク(体側の8~10個の褐色の
大きな斑点)がヤマメの印

○胸× 背× 腹× 尻× 尾× アブラ× → ×に共通なのは何？

○ヤマメはきれいな川で一生を送り、冷水流(水温8~10℃)がよい清流の女王

○ヤマメが喜ぶのはどんな川？

○どうしてヤマメの放流をするの？

ヤマメの一生

1. 去年生まれた放流ヤマメは、川底の川虫や水中のトンボなど水棲(すいせい)生物や川面の昆虫(アブも)などを餌(えさ)にして、来年には、体長15~20cmほどの成魚になる
2. 来年の秋には雌(めす)は産卵する。300個ほどの卵を生む。その40~60日後の11~12月頃に「ふ化」する。3年後に産卵する雌もいる。
- 3~4年後には体長30cm以上になり、川で一生を終える。

サクラマス的一生

- 3、ヤマメの中には銀化(ぎんけ)といって、身体が銀色の鱗に被われパーマークが消えるものが現れる。銀化ヤマメは来年には川を下り海に出るものがある。
4. 1年から1年半ほど海で生活してから、再び元の川に帰ってくる。桜の季節に帰るから、これをヤマメと区別して「サクラマス」と呼ぶ。
5. サクラマスは体長が50~60cmほどになっていて、川を上って雌は3000個程の産卵をしてからその一生を終える。

(ヤマメ)

(銀化ヤマメ)



○ 弱肉強食 ヤマメ vs サクラマス 勝者はどっち？